

R7年度 戦略期間内に取り組む内容 (案) について

1. 学生等を対象とした調査の検討

パブリックコメントでご提案いただいた「学生が香南市に暮らす(マンパワーになってもらう)ための支援策」を考えるため、近隣4校の学生等に集まっていたいただき、ヒアリング調査を実施予定。

高知大学(物部キャンパス)・高知工科大学(物部キャンパス)・高知工業専門高等学校・高知職業能力開発短期大学校に出向いた調査

香南市内でアルバイトをしている学生を対象とした調査 (各スーパーやコンビニ、飲食店を想定)

香南市出身者で、香南市で働く30歳までの方に向けた調査を実施 等
市役所に勤める香南市出身の職員に向けたヒアリング調査を実施 (市内在住・市外在住)

- ・ 県外出身者(学生)が高知県で暮らす中で感じていることの確認
- ・ 香南市が選ばれているか否かの確認。
- ・ 選ばれている理由や他市町村を選んだ理由の確認。
- ・ 香南市で暮らし続けてきた中で感じていること や 今後求めること 等の確認。

香南市の現状 (R7.6.17現在)

18歳から22歳の方で、単身暮らしの方は住基データ上2名程度であるが、市内不動産会社に問い合わせた結果、野市町では、学生が暮らしている現状を伺えた。

住民票を移さずに香南市で暮らしている学生は一定数いる。



2. 新成人を対象としたアンケート調査の実施

新成人：香南市は20歳の方を対象とした成人式を実施している。

生涯学習課と連携した「新成人を対象としたアンケート調査」をR7年度より実施予定。

可能であれば、アンケートへの回答を得られた方に、再度お集まりいただける場を構え、進学や就職等により新たな経験を得た新成人から見る香南市の現状や求める市の在り方等を伺うとともに、やっぱり香南市がえいと帰ってこられるまちづくりへのご意見等を頂戴する。



3. 香南市に暮らす外国人の実態把握を模索

R4年度より本市で暮らす外国人の数は増加傾向にあります。
また、各産業の維持等において、外国人の活躍はなくてはならない現状があります。

高知県日本語教育推進会議では、県全体で外国人を受け入れる体制を整えることが大切としている一方で、当市を含めた市町村では、どのような職種で働かれているか等の実態と課題の把握ができていない状況。



R7年度は、まちづくりとの関わりの有無についての調査を地域支援課・各支所に協力を依頼。
定期開催の支所長会で情報交換を図っていくことを了承いただいている。